

1 . 評 価 結 果 概 要 表

作成日 平成20年12月1日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105636		
法人名	有限会社 公昌会		
事業所名	グループホームひめやまの里		
所在地	松山市山越3丁目6番15号 (電話) 089-924-0655		
管理者	森 涼子 山守 道枝		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年10月24日	評価確定日	平成20年12月1日
【情報提供票より】 (平成20年8月30日事業所記入)			
(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	17人, 非常勤 3人, 常勤換算 18.9人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月30日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 64 歳	最高 99 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●各居室に、事業所での今月の行事予定表を貼っておられる。以前にももらった感謝状等を飾っておられる方もうかがえた。テレビを見たり、絵を描いたり、日記を書く等、お一人で過ごされる時間もある。 ●2ヶ月に1度、夜間時の火災を想定して、消防署に通報する等の訓練を行っておられる。 ●事業所内で月1回、職員会時に勉強会が行われており、外部講師を招き接遇研修を行われたり、母体法人の医師による緊急時の対応等について学んでおられる。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	
・前回の外部評価結果を受けて、改善計画を作成し、地区の他事業所との情報交換に積極的に参加されたり、運営推進会議の開催日時について出席しやすさを考えられた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	
・職員会議時に、職員は、班に分かれ自己評価項目について話し合わせ、管理者がまとめられた。管理者は、職員個々のケアに対する思いを知る機会になったと話されていた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	
・運営推進会議時に、ばたもち作りやお華教室を行い、利用者とともに過ごされたり、緊急時の対応等について出席者とともに知識を深められた。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	
・ご家族の来訪時、預かり金については、レシートや請求書、残金を確認していただいている。行事予定の案内等もされている。事業所新聞では、行事時の様子やおやつのレシピ等を載せておられる。	
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	
・ご近所の方からいただいたお花を飾っておられた。母体病院の外来の方ともあいさつを交わしておられる。	

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームひめやまの里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏 名 森 涼子

評価完了日 平成 20 年 9 月 15日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			母体である病院と協力し、利用者が家と同じように又その人らしく生活して頂けるよう考えている。 (理念) 1. 基本的人権の保護 2. 家庭的な生活 3. 生き甲斐のある生活 目の届く所に提示している。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの「その人らしい生活」を支援するための理念が作られている。		この機会に、貴事業所が地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念について話し合う事が大切だと思っていても日々業務に追われ職員との共有が出来ているとは言えない。		スタッフ会議の時に再確認する機会を設ける。
			(外部評価)		
			毎月の職員会時、理念に沿ったケアを実践できるよう話しておられる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居の手続きの時や家族がホームに来られたときに適宜説明し理解が得られるように努めている。又、訪問してすぐのところに掲示している。		地域の人々に理解していただけるよう、運営推進会議等で説明し理解と協力をお願いしたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組むを期待 したい項目)	取組みたい又は取組むを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 協力病院への通院時やゴミ捨てなどで挨拶をしたり、世間話などをしたり、庭の花を見せてもらったりしている。		地域の行事に積極的に参加することで顔見知りを増やしていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ホーム行事(夕涼み、クリスマス会)などへの参加を案内し出来るだけたくさんの方と交流できるように呼びかけているが地域行事には積極的に参加できていない。 (外部評価) ご近所の方からいただいたお花を飾っておられた。母体病院の外来の方ともあいさつを交わしておられる。		今後、近隣の幼稚園との交流も考えておられた。又、地域のボランティアによる書道教室の受け入れも検討されていた。さらに、利用者が地域とつながりを持って生活できるような支援が期待される。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の方がホームやデイサービスについての問い合わせや見学に来られたら、いつでも対応できるようにしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員がチームとなり自己評価に取り組み評価結果を踏まえ改善に取り組んでいる。 (外部評価) 職員会議時に、職員は、班に分かれ自己評価項目について話し合われ、管理者がまとめられた。管理者は、職員個々のケアに対する思いを知る機会になったと話されていた。前回の外部評価結果を受けて、改善計画を作成し、地区の他事業所との情報交換に積極的に参加されたり、運営推進会議の開催日時について出席しやすさを考えられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			1回 / 2 ヶ月、地域の方や地域包括支援センター、市役 所、入居者家族、入居者が参加し毎回違うテーマに 沿って話し合い意見交換を行い向上に努めている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時に、ぼたもち作りやお華教室を行い、 出席者は、利用者者とともに過ごされたり、緊急時の 対応等について出席者とともに知識を深められた。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			夕涼み会やクリスマス会に参加して頂いたり、行事以 外にも訪問して頂いている。 不明な点はその都度電話で相談している。		
			(外部評価)		
			地区の他事業所との意見交換会時には、市の方も同席 されている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			成年後見制度の資料を職員に配布しミーティングで勉 強会をしているも職員は詳しい説明が出来るレベルで はない。運営推進会議でも成年後見制度についてとり あげ話し合いをした。相談時はパンフレットも準備し 説明対応している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			身体の虐待だけではなく言葉や態度でもありえる。忙 しい中でそのような事が無いように職員全員が細心の 注意を払っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は は取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項説明を十分時間をかけて行い同意を得るようにしている。その時だけでは分からない不明点はいつでも相談にのっている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置をしている。何かあればすぐに誠意をもって対応するようにしている。入居者とはコミュニケーションの時間をとるよう心がけてはいる。不満・訴えにすぐ対応できるように努めている。		苦情・入居者からの不満・訴えにはすぐに対応し、職員間で改善策を話していきたい。こちらから、不満はないかの問いかけも必要。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 遠方に住んでいる家族には請求書送付時に近況報告を同封したり、また電話でのやり取りも行っている。面会時適宜報告もしている。又定期的に新聞を作成している。金銭管理については約一ヶ月に一回お預かりしているお金を家族様と確認しあい、サインをいただいている。		お預かりしているお金のチェックがスムーズにおこなえていないので連絡を密にしておきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時、預かり金については、レシートや請求書、残金を確認していただいている。行事予定の案内等もされている。事業所新聞では、行事時の様子やおやつのレシピ等を載せておられる。		さらに、事業所全体で取り組んでおられる運営推進会議で話し合われたことや、職員の紹介等をお知らせするような取り組みもすすめられてほしい。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約書にホームの苦情相談窓口及び苦情受付の連絡先を明記して、説明をしている。家族から意見・不満・苦情があった際は速やかに職員・管理者が誠意をもって対応できるよう努めている。		家族にとり、苦情などは言いにくいと思うので、名前が分からないようなアンケートを作成して、家族様の意見なども反映させていきたい。
			(外部評価) ご家族からの意見や要望については、事業所内で話し合われている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			月1回の職員会などで意見交換する場を設けている。 日々ホームの改善に努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			休み希望をあらかじめ聞き家庭状況や就職時の契約に応じて対応している。又入居者の状況に合わせて体制を工夫している。		状況に応じて職員数を増やしている。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			新しい職員が就職してきた時は入居者に紹介している。又新しい職員が入った時は他の職員がフォローしている。どの職員でも入居者の対応が出来るようにしている。		新しい職員には少しでも早く馴染んでもらう為、コミュニケーションをとることから指導している。
			(外部評価)		
			職員が代わる場合は、利用者個々へのケア等についても、引き継ぎを十分に行うようにされている。又、両ユニットで情報を共有し、職員は、両ユニットの利用者との関係作りに努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			研修予定日の情報を仕入れ、順番に職員が参加できるよう勤務調整し、職員の質の向上に努めている。		今後もレベルアップのために、積極的に研修に参加していきたい。
			(外部評価)		
			外部研修開催の情報は、スタッフノートにて職員に案内されており、事業所では、職員に研修受講を積極的にすすめておられる。事業所内で月1回、職員会時に勉強会が行われており、外部講師を招き接遇研修を行われたり、母体法人の医師による緊急時の対応等について学んでおられる。		職員は、さらに認知症ケアの勉強を深めていきたいと話しておられた。今後も、職員のスキルアップから、ケアの質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			研修等で知り合う同業者との関係を大切にし、意見交換をしている。又同じ地域のホームの方達と意見交換をする機会を設けてホームの見学なども行っている。		今後もネットワーク作りを行いお互いのサービスの向上に努めたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターが主体となって、地区7つのグループホームの連絡会が開催されている。会議では、意見交換等を行い、他の事業所の取り組みを知る機会にもなっている。		さらに、今後、他のグループホームにも声をかけ、AED（自動体外式除細動器）の講習を行いたいと考えておられた。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			愚痴をこぼすことでストレス発散になっている職員も多いが、度が過ぎる前に相談できる、してきてもらえる関係を作り上げていきたい。そのために職員間での親睦会（食事会）を開催している。		2ヶ月に1回食事会を開催している。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			就業規則の作成や健康診断を実施し、体調管理には十分な注意を払っている。有給も消化出来るよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前には、本人・家族とお会いし、事前面接で時間をかけ多くの情報・思いを聞いている。入居後、安心して生活していただけるよう職員間で情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査で時間をかけお話を聞くようにしている。深く立ち入らない程度に家族環境をお伺いし、本人と家族・ホームとの関係作りを心がけている。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居の際ホームの見学をしていただき、本人の意向と、家族の意向を聴取している。そのうえで実際携わってみて、必要と思われる事柄をケアプランに反映させ、話し合いなどをおこなっている。必要に応じて他の事業所と連絡をとっている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前には、必ずホーム見学をしていただき、又入居前で過ごしていた所には必ず行き、ゆっくり話をしている。入居当日は必ず家族様に、ある程度落ち着くまでは居ていただくようにしている。 (外部評価) 入居後、時にはご自宅に外泊される等、ご家族とも協力しながら、ご本人がゆっくりと事業所に馴染めるよう支援されている。		慣れるには時間がかかる為、本人さんのペースを尊重している。少しでも安心して過ごしていただけるように支援していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者の若い頃の体験や色々な知識を話題にし会話を楽しんでいる。その中で昔と今を比べ教わったり又教えたりしている。普段から職員も一つの家族として日々の生活を共に送ることを基本として業務を行っている。 (外部評価) 職員は、一日一度は、利用者個々とゆっくり話すことに心がけておられる。時に利用者から、ねぎらいの言葉を掛けてもらうこともある。		コミュニケーションの時間をつくり信頼関係が築けるように努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時や電話を使用する際などに入居者さんの状況を説明したりしている。又以前在宅で生活していた時の様子なども教えていただいたりしている。		お互いの意見を尊重しあえるようにコミュニケーションをとっていききたい。
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族さんが来られた時に入居者さんが家族さんとの楽しい思い出を語られた事や、普段の生活状況をお伝えしている。		思い出の品（アルバム）等を見ながら入居者さんの今までの家族さんとの暮らしぶりを教えていただく。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 時節に応じて絵手紙や電話でコミュニケーションをとっている。 いつでも交流できるように面会時間の制限を設けていない。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者同士の雑談やレクリエーション等、一緒に何かをする時間を毎日設けている。 楽しみをもてるよう声かけをしている。		耳の遠い方や理解しにくい方は会話から孤立しないよう間に職員がはいり会話をつないでいる。共通の話題を投げかけて話しが広がるように心がけている。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院した場合は職員が様子を見に行き声かけしたり家族さんと話したりしている。家族さんと出会った時は声をかけて話している。		季節の変わり目等に手紙（葉書）を出したり、行事などがある時は案内をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			普段の会話の中から又は様子等から希望、意向の把握に努めている。なるべく本人の希望に添えるように配慮している。		一人ひとりに傾聴するよう心がけ、楽しく安心して生活できるように努めたい。
			(外部評価)		
			利用者との日々のかかわりの中で、思いや意向を把握できるよう努めておられる。歌が好きだった方とともに歌を聞いたり、昔の遊びをされながら、その中でお話を聴けるよう努めておられる。		事業所では、日々のケア記録のあり方について改善していきたいと考えておられた。さらに、ご本人の思いや意向を探り、利用者個々のその人らしい支援につなげていかれてほしい。
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居前の事前調査や家族からの情報をもとに細かい部分まで把握するように努めている。本人との会話の中からこれまでの暮らしや覚えている事を聞き、把握に努めている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			出来るだけ一人ひとり、じっくり会話がもてるように心がけている。毎朝申し送り等を聞き、日々の変化を把握するように努めている。		日々の変化、状態が確実に把握できるような引継ぎを行っている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人・家族・主治医と話し合い、本人に見合った介護計画を作成し、介護計画に基づきケアを行っている。		年に数回カンファレンスを行い、介護計画の内容について話し合いをしている。又本人・家族の意向も聞き、見直し等も行っている。
			(外部評価)		
			ご本人の困っていることについて、ご家族とも話し合い、計画を立てておられる。ご本人は「楽しく生活したい」、ご家族は「本人の意思を尊重し、穏やかな生活をしてほしい」と希望されている。		ご本人の暮らし方の希望を具体的に探ったり、ご家族にも具体的なご意見や協力がいただけるよう、働きかけの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			期間に応じて見直し(基本的に3ヶ月に1回)、又変化 等があった場合は家族様の意向をふまえた上でその都 度見直しを行っている。		本人・家族・職員の意見を取り入れながら介護計画書 を作成している。
			(外部評価)		
			3ヶ月毎に計画を見直しておられる。状態変化時、退院 後等にも見直しを行なっておられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別にファイルを用意してその中にはケアプランがは さめるようになっている。介護記録は毎日しているも ののケアプランに沿った介護記録がまだ出来ていな い。		記録が画一的になっているところがある。プランを活 かせるような記録にしていける必要がある。
			(外部評価)		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			医療連携体制にて異常時の早期発見・対応ができるよ うにしている。又家族の同意を得て異常時に迅速に処 置ができるよう前もって既往歴等、看護師にも知らせ ている。協力医療機関にはりハビリに通っている方も おられる。		
			(外部評価)		
			法人内のデイサービスの行事を見学に行かれること もある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年2回の避難訓練では消防署の方に指導、協力して頂いている。大学生のボランティアグループの訪問などを受けている。又お花の先生を招き生け花教室を開催している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望、家族の希望がある時に訪問歯科は利用している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて相談している。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 個々の希望により決定したかかりつけ医と協力して往診、受診など相談しながら行っている。又適宜電話での報告も行っている。 (外部評価) 毎週月曜日は、歯科の往診がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医と相談し必要に応じて専門科の受診を検討し受診している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			協力病院の看護師や医師と相談しながら受診や処方を考えてもらっている。		看護師と気軽に相談できる関係が築けている。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			病院関係者と十分な情報交換を行い、又職員が直接利用者に会いに行き状態を把握し早期退院にむけて協議が行えている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			看取りに関する指針があり家族には入居時に説明、アンケートをとっている。		
			(外部評価)		
			入居時、ご家族に看取りについてのアンケートを取り、希望を聞くようにされている。事業所で看取りを支援された経験があり、ご家族と毎日連絡を取り合い、母体病院とも連携を図り、職員の体制等も強化して支援された。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			医師、家族、ホーム職員とよく話し合い、家族や本人の意向に添えるように出来る限りの協力をしている。また、ホームで対応できない時も協力病院と良く相談している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			個々の情報で共有できることは、サマリーなどを用いて十分な情報交換をし住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価)		
			職員は入居者に対し不快を与えることなく、家族のような気持ちで接するように心がけている。		プライバシー保護に関しては必ず会議時に話し合いをしている。
			(外部評価)		
			居間にあるトイレは、戸びらとカーテンでプライバシーを守るように配慮されている。利用者に対する言葉かけ等についても、個々を尊重できるよう心掛けておられる。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			レクリエーションや食事の希望を入居者に自己決定していただくよう声かけや選んでもらうことを促しているが、他の入居者に気を使い何も言われない方もいる。		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者のペースで対応するよう心がけている。又個々に合わせた日々の過ごし方も話し合い、支援している。		
			(外部評価)		
			レクリエーションを行う際、利用者の希望を聞くようにされている。		利用者の生活歴や習慣等も考慮しながら、利用者個々がご自分のペースで生活を続けていけるよう、支援の工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人や家族の希望がある時に、訪問理美容を利用して毛染めなどもしている。身だしなみは寝癖がついている時は、寝癖直しを使用し、食べこぼしによる着衣の汚れは清潔を保てるよう努めている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好みを聞いて外食することもある。楽しい話題を中心に談話しながら食事をしている。準備や食事、片付け等は入居者さんとスタッフで協力して行える方はしている。 (外部評価) 食材が事業所に届くようになっており、利用者とともに届いた食材の確認をされている。時に、食材を止めて、外食をされたり、好きなメニューを手作りされることもある。外食事には、利用者それぞれが、好きなものを食べられるようになっている。		さらに、利用者が食事作り一連の流れにかかわることができるような機会を増やしていかれてはどうだろうか。利用者個々の力を活かせる場面作りの支援が期待される。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の意向に沿った対応をしている。食べれない物があれば全てではないが他の食材に変え少しでも食生活が楽しくなるようにしている。		好きな物、食べたい物を把握し、食べる楽しみが増すよう努めたい。
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握の為、排泄チェック表を作り時間帯など、それぞれの入居者に合わせて対応している。排泄時間を声かけし、オムツ使用の入居者は定期的にトイレ誘導し排泄してもらえるように実施している。		一人ひとりの排泄パターンを把握しオムツ使用の入居者が日中だけでもオムツを外す事が出来るよう支援していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			一番風呂に入りたい人には、一番最初に入浴していただいている。入浴していない日が続いている方には優先的に声かけして入浴していただいている。スタッフの介助のもと雑談しながらリラックスして入浴していただけるよう努めている。		入浴した日がすぐに分かるよう一覧表を作成している。夜間は職員が一人の為、入浴することが出来ない状態である。
			(外部評価)		
			ご自分の石鹸やタオルを持ってお風呂に入る方もいる。一人での入浴を希望される方も安全に入浴できるよう、そっと見守り支援されている。		車椅子を利用されている方も、浴槽で温まることのできるような支援等、今後も、それぞれの希望に沿って、入浴をより楽しめるような支援の工夫に取り組んでいかれてほしい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中、横になりたいと言われる方には、居室へ誘導し休んでいただいている。重度の方には、日中は水分補給時、レクレーション時、おやつ時、食事時には起きていただいている。夜間は2時間毎に体位変換を行っている。居室の温度・換気にも注意している。		夏にエアコンを嫌い、掛布団も厚みのあるものを好み、(体温調節ができない)そのような方への対応は困難である為対応策を検討中。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			毎日、みんなで体操をしている。入居者に何をしたいか聞いてレクリエーションをするが、したいことの返事がないことが多い。その為スタッフが楽しんで参加していただけるレクリエーションを考えている。		楽しんでいただける日々のレクリエーションの種類を増やしていきたい。 絵が上手な方は塗り絵など毎日されている。
			(外部評価)		
			利用者は、食事の後、テーブルや食器を拭いたり、洗濯物たたみをされている。		さらに、利用者一人ひとりのできることできそうなこと、興味のあること等を探り、その人らしく日々を過ごせるような支援に工夫を重ねていかれてほしい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			近所のスーパーへスタッフと一緒に買い物へ行って、欲しい物を買われる。その時支払いはスタッフが入居者さんと一緒におこなっている。		入居者自身がお金を持ち、使う支援に関しては日常的に取り組みが少ない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			気候の良い時期には、スタッフと一緒に近所を散歩している。自力歩行の方も車椅子の方も一緒に。		ゴミ捨ての時、一緒に行ける方には一緒に行き手伝っていただいている。
			(外部評価)		
			買物に行かれる方がおられる。又、事業所で、毎月外出の行事を決め、出かけておられる。		事業所では、利用者が外部者と交流できるような機会を増やしていきたいと考えておられる。ご本人の希望を引き出し、ご家族の意見等も聞き取りながら、取り組みをすすめていかれることが期待される。
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			車に乗ってカフェやレストランへ行き好きなランチを食べたり、ケーキやコーヒー等を食べに行く機会を設けている。春は花見に行き季節を感じていただいている。家族様にも声かけし、参加される方にはしていただいている。		秋のみ外に出て季節を感じていただくことができていないので企画を立てたい。
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人さんが電話をしたい時は、いつでも自由にしていただいている。自分で出来ない方は訴えがあればスタッフがかけ、本人に代わっている。手紙を書かれたら投函している。		制限は一切しておらず支援している。
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問していただいている。面会時間の制限なし。リビングで過ごす方、居室で過ごす方等自由にしていただいている。		本人や家族からの面会の拒否がない限り、いつでもどなたでも訪問していただいている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的には身体拘束をしないケアに取り組んではいる が家族の強い希望によりベッド柵2本使用している。		皆で話し合い柵を外すように試みたが転倒、転落の危 険性が高く、継続せざるおえない。しかし、他の方法 があれば再度試して行きたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は常に出入り可能な状態にしている。徘徊のある 入居者の見守りを怠らないようにしている。 (外部評価) 玄関には鍵をかけず、職員が利用者を見守っておられ る。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーには十分配慮しながら、必ず日中一人は 職員が全体を見渡せる所で様子を把握し安全に配慮し ている。又夜間は様子が把握しやすいように豆球をつ けている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) はさみ、針箱など個々の認知状態と管理能力を考えた 取り組みをしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒアリハット、アクシデントレポート等を書くことで 原因や対策をスタッフ一同で考え再発防止に努めてい る。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアル、連絡網などがあり協力病院への連絡も常に取りれるようになっている。		1回/月の職員会議で毎回のように話し合い確認合っている。今後も続けて行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 夜間を想定した避難訓練(通報、誘導の仕方や優先順位はどうか)1回/年を行っている。又ベアで実際に通報訓練もおこなっている。 (外部評価) 2ヶ月に1度、夜間時の火災を想定して、消防署に通報する等の訓練を行ってられる。		地域の方より「何かあったら声をかけてね」と言われているが、地域の方を含めた訓練はまだ行われていないので、今後はそういった訓練も予定していきたいと思う。 次回の運営推進会議時には、出席者とともに避難訓練を行なう予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居者の入居状況(生活習慣)に応じ、家族、本人と密に話し合いホームで穏やかに暮らせるようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 速やかに主治医や協力病院ナースへ連絡し対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬局からの効能書きを入れておき職員がいつでも確認できるようにしている。又変更があった場合も比較できるようにしている。		既往症と薬についての勉強会をもっとしたい。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日牛乳や乳製品等を取り入れている。薬の副作用などで便秘が考えられる場合も水分の摂り方や運動（腹部マッサージ）で改善できるように努力している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行っている。歯ブラシの使えない方にはスポンジブラシを使用して口腔ケアしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取表により把握している。主食の量を（g）を決めたりと個々に応じて対応している。 (外部評価) 食事制限のある方には、主食の量でカロリーの調節をされている。体調不良時には、「食べられそうなもの」に変更されたり、お茶ゼリー等も用いて水分摂取にも努めておられる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザ予防接種を受けたり、手洗い、うがいの徹底もしている。感染症に対する勉強会を行い早期に対応できるようにしている。		今後も引き続き勉強会を時期に合わせて行っていく。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手洗い、消毒を徹底している。又調理器具の消毒も行っている。十分に加熱調理するようにしている。		食中毒を起こしそうな食材（貝類・生もの）十分な注意をはらっている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入居者の方が休憩をしたり、靴の着脱がしやすいように椅子を設置している。車椅子の方も利用しやすいようバリアフリーになっている。花、プランターなどおいている。		インターホンはカメラ付きでインターホンを押すと訪問者の顔が分かるようになっている。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) レクリエーションで入居者と季節ごとの展示物作りをおこなっている。食堂には観葉植物や季節の花をテーブルに置いたりしている。明るすぎたり暗くなりすぎたりしないよう照明を調節できるようにしている。		入居者が無理なく安全に入浴ができるよう、デイスービスに設置してある機会浴を使用させてもらう。その為にはデイ管理者が使用の理解をしてくれるよう働きかけていきたい。
			(外部評価) 居間のテーブルや洗面台には、季節のお花を飾っておられた。		今後、掲示物の工夫をしたいと話しておられた。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 誰でも気軽にくつろげる空間を作り、ソファやテレビなどを置いたりしている。		リビングに大きなテレビとソファを置いてゆったりとした感じをだせるようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価)		
			ホームでベッドとチェストは用意しているが、その他 は個人の馴染みの物を持ち込み個々の生活にあった場 所となっている。		
			(外部評価)		
			各居室に、事業所での今月の行事予定表を貼っておら れる。以前にもらった感謝状等を飾っておられる方も うかがえた。テレビを見たり、絵を描いたり、日記を 書く等、お一人で過ごされる時間もある。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			居室に換気扇が設置されている。各自居室に居ない時 は窓を開け換気をするようにし、温度調整はご本人さ んの体調により職員が最終的には行っている。共有ス ペースの換気も適宜行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			エレベーターや要所には手すりが設置されている。又 浴槽には滑り止めマットを使用。ホーム内は段差もな く安全に過ごせる。居室のベッドも高さが入居者によ り合わせられるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			居室入り口には入居者の目線に合わせた高さで大きな 表札を掲げ、場所間違いをされた時にはそっと案内し ている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダは洗濯物干しになっており、スペース的には あまりないがトマトときゅうりを育て入居者と一緒に 食べたりしている。		朝顔も試したが枯れてしまい次回はチューリップの球 根を植える予定。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者の思いや願いを全て把握しているわけではないが、コミュニケーションを大切にし一人ひとりに適切な対応をとっている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	以前より一緒に過ごす時間は増えた。食事の時、水分補給時などゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者はそれぞれ自分のペースで生活していただいている。強制することや急がすことのないようにしているが、職員の都合で待たせてしまうことがある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事の際は生き生きとした表情がみられ、又昔話しをされる時も表情が豊かになる。職員にゆとりがない時は入居者にも影響がでているように思える。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所への希望のある入居者については出かけている。希望のない方は散歩に誘い出かけている。身体的に重度の方は気軽に出かけられず、企画のたった外出しか出来ないことが多い。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携体制をとっており、協力病院による定期的な受診、往診を受け、健康管理ができています。異常時のマニュアルも作成しており24時間対応できるようになっています。家族に了承を得て入居者の状態は協力病院の看護師にも把握していただいている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての要望には応えられていない面もあるが本人の思いや訴えにその都度対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、電話連絡時、遠方の家族には手紙にて生活状況などを報告し、信頼関係を築きあげている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	家族、知人の方が訪ねてくることが多く、近所の方などの訪問頻度は少ない。

(自己評価)

- 特定非営利活動法人 JMACS